

稚内南小学校の新校舎が完成しました！

平成29年6月に着工した、稚内市立稚内南小学校の新校舎が完成し、3学期が始まった1月17日から新しい校舎での学校生活が始まりました。

平成31年度には旧校舎の解体や外構整備が行われ、本年中には新しい校舎の外観も姿をあらわします。

新校舎4つの特色

①子どもたちの主体性を育む学校

学年間の交流や多様な学習活動が行えるよう、多目的ホールと図書・メディアセンターを一体化して利用できるようにし、時代の変化に柔軟に対応するための機能性を持っています。

②安心・安全な学校

玄関にスロープ、わかりやすい表示や手すりの設置、ゆるやかで広い階段、多目的トイレ、耐震性の高い給水管からの水道引き込み、教職員が子どもを見守りやすい死角の少ないレイアウトなど、安心で安全な学校生活を過ごすことのできる施設となっています。

③環境を考慮した学校施設

自然光をふんだんに採り入れる造りのほか、LED照明、節水型衛生器具の採用、校舎棟の外断熱構造による燃料費の節減など、「環境都市わっかない」にふさわしい、省エネルギーで環境にやさしい施設整備を行っています。

④地域との連携

校舎と屋内運動場の間にパイプシャッターと学校開放玄関を設置したことで、夜間や祝日にも地域やスポーツ少年団などの様々な活動に対応することができます。また、1階の会議室は普通教室の1.5倍の広さとすることでPTAや地域のコミュニティ交流空間としても利用できるようになっています。

新校舎完成にあたり

稚内市立稚内南小学校
校長 杉本 浩一



1月11日から始まった引っ越し作業に、地域・保護者、稚内市の関係者等、たくさんの方々のご協力をいただき本当にありがとうございました。

引っ越しも完了し、子どもたちも毎日ワクワクした日々を過ごしております。旧校舎が建てられ始めた昭和38年は、東京オリンピックが開催された前年です。奇しくも新校舎と該当工事の全てが完成するのも2回目の東京オリンピックの前年です。今後また50年間愛される校舎と学校であるようにとの想いを新たにしているところです。

校舎建築にあたり、多数の方々のご努力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

「稚内南小学校の新校舎完成」

かねてから建設を進めてきました「稚内南小学校」が完成し、3学期から在校生に利用してもらい、4月には新一年生を迎えることとなります。

前の校舎が昭和38年に建てられたということですから、かれこれ50年以上が経過して今回の建設に至ったということになります。もちろん、旧校舎も多くの卒業生を送り出してきましたが、これからはこの新校舎から、このまちの未来を担う子どもたちが巣立っていくと思うと、我ながら期待に胸が膨らみ、仕事冥利に尽きます。あらためて、関係する多くの皆さんとともにお祝いを申し上げたいと思います。

今、教育関係者の間で「わっかない人(びと)の育成」という言葉が使われ始めています。このまちに育てられ、誇りと夢を持って、羽ばたいていき、できればこのまちの発展をもに支えていく、そんな人材が一人でも多く育つことを教育関係者のみならず、様々な分野の方々、さらには多くの市民の皆さんと目指したいと考えています。

子どもたちが、安心して安全な学校生活を送ることができるよう、ハードはもちろん、ソフト的にも多くの知恵がこの校舎には注がれています。より良い教育環境の整備、充実への取り組みはこれからも続きます。引き続き、市民の皆さんのお力添えをお願いします。

稚内市長 工藤 広

こんにちは
市長です。

No.57

